



平窪の学舎

July

第10号

七夕かざり（短冊）に願いを込めて！

7月7日は新暦の七夕でした。それを前に、子どもたちは、一人一人が願いごとを短冊に書き、飾りました。いくつか紹介します。「〇〇（職業）になって、人のために役立つ仕事をしたい」、「〇〇の選手になって、活躍したい」、「お父さん、お母さんを楽にさせてあげたい」、「家族みんなが、健康で幸せでありますように」、「コロナウイルスが早く大丈夫になりますように」、「災害が起こらないように」「世界が平和でありますように」などです。

未来への夢や希望、周りの人々への思いやりや幸せを願う気持ちなど、尊く、とても素敵なことだと感じました。そこで、そのことを、6月29日の全校集会（テレビ放送）で、校長から子どもたちに伝えました。さらに、「それらの願いをかなえるためには、自分自身が、また、みんなが、力を合わせて実現に向け努力していくことも大切である」と話しました。これからも、一人一人の努力を「すばらしいこと」、「かっこいいこと」と感じ、「努力する人をみんなで応援し合う平四小の子どもたち」であってほしいと思っております。



「平支援学校のみなさんへのメッセージ」

本校の子どもたちも、平支援学校のみなさんも、毎年とても楽しみにしている「交流七夕祭り」ですが、コロナウイルス感染防止のために、今年は中止となってしまいました。とても残念がっている子どもたちですが、学級ごとにメッセージカードを作り、平支援学校のみなさんにお贈りしました。「自分の好きなことやがんばっていること」、「今回会えないことがとても残念であること」、「早く会って一緒に楽しみたいこと」「コロナウイルスに負けずに元気でいてほしいこと」など、支援学校のお友達を思う気持ちがよく表れたメッセージでした。支援学校のみなさんにもうれしく感じていただけたのではないかと思います。



